

竹灯籠と1万本の線香花火

2016年から始めた、

竹灯籠と線香花火のコラボ「竹灯籠と1万本の線香花火」

皆さまにご好評をいただきまして、今年も開催が決定いたしました！

当日は、芝生広場一面を、竹灯籠約600本が覆い尽くします。

竹灯籠からまれる、淡い灯りに包まれた幻想的な雰囲気の中で、

日本の伝統文化・・・「日本の花火」をじっくりとご体感ください。

繊細に火花を散らし、そして儚く消えてゆく線香花火を眺めながら、
過ぎゆく夏に思いを馳せてみませんか？

淡い光が織りなす幻想的な世界に、是非大切な方と一緒に
包まれてみてください。

●日時：8月26日(日)

17:00～ 先着2,000名様に「国産」線香花火を配布
(プレイルンド・ミーゴラウンド付近)

19:30～ 竹灯籠点火

20:00～ 線香花火タイム

●場所：園内 芝生広場

●参加料：無料 ※入園料は必要

※キリンとシマウマの展示を、19時までとさせていただきます。

※雨天・強風等の場合は、延期いたします。

延期の情報は、当日当園HPにてお知らせいたします。

ITOZU YORU ZOO ～夜の動物園～ 開催中！

★8月の金曜日・土曜日・日曜日、

★8/13(月)・14(火)・15(水)は、21:00まで営業！

森の仲間たち



「到津の森公園」事務所
北九州市小倉北区上到津 4-1-8
Tel 093-651-1895 〒803-0845
<http://www.itozu-zoo.jp/>

森のお便り 8月号 2018年

発行・編集 「到津の森公園」「森の仲間たち」18年8月1日発行 通巻186号

星降る花火

ファンタジー

到津の森公園の夏の風物詩と言えば、花火！

大玉が打ちあがるような派手な花火大会ではありませんが、

子どもたちにも親しみのある、楽しい音楽に合わせて

踊るようにあがる仕掛け花火。

そんな毎年大人気の

「花火と音楽のコラボレーション 星降る花火ファンタジー」

を今年も開催いたします。

■日時：8月18日(土)・19日(日)
8月25日(土)
各日 20:30～20:45

■場所：園内 芝生広場

■観覧料：無料 ※入園料は必要

当日は、「ITOZU YORU ZOO ～夜の動物園～」
開催中なので、夜9時まで営業いたします。
(園内をごゆっくりとお楽しみいただくため、ご入
園は20:00までとさせていただきます。)

夏の思い出に、皆さまお揃いで、到津の森公園を
お楽しみください。

花火当日は、安全確保のため動物の展示は
20時までとさせていただきます



マンション住まいの私の楽しみが、室内から鉢植えの山椒の葉を食べつくすアゲハチョウの幼虫を見守る事です。

実家の母の庭でこぼれ種から芽吹いた、トゲのきつい野生の山椒の鉢をベランダに置いて楽しんでいましたが、大小の蝶をはじめスズメやヒヨドリ、ハチにセミ、果てはヤモリやコウモリまで勝手に遊びに来るようになりました。

大きな芋虫にちょっかいを出して、怒って出した角に悲鳴をあげたりということもありましたが鳥に食べられるのかいつの間にか姿が見えなくなり、カラスアゲハ等は蜜を探しに来るだけ。

ここ数年は蝶類ではもっぱらアゲハチョウの保育所となっています。

脱皮を繰り返しながら、ひたすら葉を食べ続ける幼虫は、3センチ位の黒っぽい姿からきれいな緑の芋虫となり黒い体液を排出した後、いつの間にか好きな場所へ移動して蛹（サナギ）となりコンクリート壁や洗濯ハンガー等にぶら下がっています。

雨に風に、さて無事かなとベランダに出てみると運よく羽化の最中に出会う事もありました。

蛹の背中を破り、ゆっくり畳んだ羽を広げてゆく姿にはみとれてしまいます。

あなたも一度はご覧になったら元気が出ますよ。

しっかり観察されたい方は、鉢の上からネットを被せておくとよいですね。

但し農薬不使用の餌でないともだえ死んでしまうので要確認です。

園内でも、里のいきもの館横の森や（特にクスノキ科の樹木）池辺りをはじめ、ヤブガラシ・ヘクソカズラ・ウマノスズクサなどの食草を目当てにすると様々の蝶に出会うことができます。

文：花咲くおばさん

花暦葉月

森のなかま・アオバト

こもれびの径に見守りに行く!?

7月20日、こもれびの径に仲間が増えました!

アオバトという全身が緑色のハトの仲間です。翼の部分は少し濃い緑色をしています。これはメスの特徴になります。まだ新しい環境に緊張している様子で、木の陰に隠れています。

こもれびの径には、すでにオスのアオバトが2羽います。オスの翼には赤みがかかった羽が生えているのが特徴です。

今は、先住者のオスたちも気にはなるものの近づく勇氣はまだないようで、たまに首を伸ばしては遠くの新入りちゃんを観察しています。

早く環境にも慣れ、お互いに馴染んでくれたらいいですね。

そして、今後は恋が芽生えたりするのかな? オス同士の仲が悪くなったらどうしよう。担当者は期待と不安を抱えながら今日もアオバトを見守っています。

みなさんもこもれびの径までアオバトたちを見守りに行ってみて下さいね。



飼育展示係 中嶋 麻海